

# 指定管理者制度導入施設 モニタリングシート

評価年度

令和3年度

## 1 基本情報

公の施設名	相模原市立緑第一障害者地域活動支援センター
指定管理者名	特定非営利活動法人湘北福祉会やまのべ
指定期間	平成31年4月1日から令和6年3月31日まで(5年間)
施設設置条例	相模原市立緑第一障害者地域活動支援センター条例
施設の設置目的	障害者が地域において自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、相談支援を行い、創作的活動又は生産活動の機会を提供し、社会との交流の促進を図るとともに、日常生活に必要な便宜の供与を行い、もって障害者の福祉の増進に寄与する。(条例第2条)
施設概要	開館時間:午前9時30分から午後6時まで 休刊日:日曜日及び12月29日から翌年の1月3日まで 年間開所日数:307日 施設延床面積:312.78㎡ 主な施設:1階 フリースペース、作業スペース、相談室、静養室、台所、ダイニング、浴室、脱衣室、事務室等 2階 管理スペース(和室)
施設所管課	健康福祉局 地域包括ケア推進部 高齢・障害者福祉課

## 2 管理実績

項目(単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数合計(人)	3,537	3,776	3,758	2,784	3,151		
利用料金合計(円)	856,334	755,064	570,408	226,190	513,425		
収入総額(円)	30,814,059	26,979,029	29,189,522	31,518,245	36,015,541		
支出総額(円)	29,079,084	26,038,246	25,689,799	24,903,365	28,169,393		

## 3 成果指標の達成度

評価(5評価)	評価理由・委員会意見
<b>B</b>	新型コロナウイルス感染症の影響により、通所や面接相談等の利用件数が減少したため、目標値を達成できなかった。しかしながら、年間延べ通所者数(フリースペースの利用者数)は前年比で367件増加しており、また、電話相談の件数は概ね横ばいであることから、引き続き、利用者に必要な支援を行って欲しい。

指標	
指標名(単位)	利用者総数(人) ※平成30年度まで:開所日1日当たりの平均利用人数 単位:人
指標式と指標の説明	施設に通所し日中活動等への参加や、障害者の不安を解消する総合相談事業の利用により、障害者の地域における自立した日常生活や社会生活の促進が図られるため、利用者総数(年間延べ通所者数+総合相談延べ人数)を成果指標とする。 ※平成30年度まで:年間延べ通所者数÷開所日数

項目(単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値(人)	17	17	5,000	5,100	5,200	5,300	5,400
実績値(人)	12	12	5,800	4,727	4,884		
達成度(%)	69.7%	71.8%	116.0%	92.7%	93.9%	0.0%	0.0%

#### 4 事業の実施状況

評価 (5評価)	評価理由・委員会意見
A	<p>事業計画等に基づき、相談支援事業及び地域活動支援センター事業は、適正に実施されている。特に、感染症対策を十分に行いながら、食事提供を継続して行い、日常生活支援やプログラムを実施した点や、就労相談を踏まえた計画相談を実施し、法人内の就労継続支援B型事業所「ワークやまのべ」への移行を促進するとともに、工賃を上げることで就労意欲を高め、社会参加を促す取り組みとして評価できる。</p> <p>また、感染症拡大防止に配慮した支援を行うことで、利用者の不安を解消し、フリースペースの利用者を増加させたことで多くの利用者に居場所作りや地域交流の場の提供等、社会参加の促進につなげた点を評価する。</p>

#### 市が指定する事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者等	評価
相談支援事業(基本相談支援)	通年	電話相談、面談相談、メール、同行・訪問、ケース連携 相談件数合計 1,733件	○
相談支援事業(家族相談支援)	通年	電話相談、面談相談等 合計18件	○
相談支援事業(計画相談支援)	通年	サービス利用支援及び継続サービス利用支援 相談件数合計71件 【指定相談支援(計画相談、地域移行、地域定着)】	○
相談支援事業(地域相談支援)	通年	地域移行支援及び地域定着 相談件数合計 上記の通り	○
相談支援事業(訪問等相談支援)	通年	訪問・同行支援 件数合計 9件	○
地域活動支援事業(生活支援事業)	通年	○食事提供 275回提供 延べ参加人数2297名 ○プログラム活動等 延べ参加人数 474名 ○生産活動 請負作業、自主製品の製作販売 年間255日(就労継続支援B型事業所支援含) 延利用者数 2,150名	◎
地域活動支援事業(地域交流事業)	通年	新型コロナウイルス感染症の影響により中止 (地域住民や関係機関を対象とした講演会や研修会の開催、地域で活動する団体との連携等) 新型コロナウイルス感染症の影響により中止 (ほのぼの100人運動会、緑センターやまのべ祭り、地域イベント等)	/
地域活動支援事業(情報提供事業)	通年	緑センターやまのべ便りの発行 月1回 ホームページでの情報提供 随時 関係機関からの催事、講演会等の情報掲示 随時	○
地域活動支援事業(就労支援事業)	通年	○就労相談 一般就労・福祉的就労に向けての支援 ○障害者雇用 清掃スタッフ、調理スタッフ (新型コロナウイルス感染防止のため清掃スタッフのみ中止)	○
地域活動支援事業(ピアサポート)	通年	新型コロナウイルス感染症の影響により休止 (ピアサポート養成研修、ピア活動、ピアセッション)	/
地域活動支援事業(交流できる場の提供)	通年	○フリースペース 延べ参加人数 3,151名 ○管理スペースの活用 (家族会、自治会等の活動場所の提供) 新型コロナウイルス感染症の影響により休止	◎

#### 企画提案事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者等	評価
企画提案事業なし			

#### 自主事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者等	評価
自主事業なし			

## 5 利用者の満足度

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
<b>B</b>	満足度における実績値は昨年度から2.4%下がっている。しかしながら、「職員の対応」、「コロナ対策」については概ね高評価となっており評価できる。 プログラム内容の種々検討による満足度向上を期待する。

利用者満足度調査	
調査手法/サンプル数	令和4年3月末の登録者へアンケートを配布（郵送及び手渡し）/回答数37
目標値の基準	「全体を通して、当センターに満足していますか？」の問いに対する5段階評価のうち「大いに満足している」「満足している」「どちらとも言えない」と回答した方の割合

項目（単位）	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値（%）	91.1	91.7	92.3	92.9	93.5	/	/
実績値（%）	91.3	85.2	92.1	92.1	89.7	/	/
達成度（%）	100.2%	92.9%	99.8%	99.1%	95.9%	#DIV/0!	#DIV/0!

その他の取組		
取組事項	時期	取組内容
施設運営会議	6月	地域の関係機関からの意見を幅広く聴取する場として運営協議会を開催しているが、本年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止。
意見箱	通年	随時面談にて利用者の意見、要望を聴取するが、補完として意見箱を常設している。

## 6 施設の経営状況

評価 (5評価)	評価理由・委員会意見
S	経営に占める指定管理事業の割合は高いが、3年度連続で利益計上となり安定傾向にある。当期は経常収益(売上高)を前期比16,760千円増加させたが、経常費用(販売費・管理費)がそれをやや上回る17,407千円増加となり、利益はやや圧縮されている。しかしながら、引き続き資金流動性は良好であり、自己資本比率も高い。経営上、特段の課題はない。

### 施設の収支概要

※直近3年間について記載

(千円)

項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度
収入 (a)	28,257	28,009	29,401
指定管理料	25,581	25,332	25,565
利用料金収入	570	226	513
生産活動収入	661	606	721
その他の収入	1,445	1,845	2,602
支出 (b)	25,690	24,903	28,103
人件費	19,297	18,776	21,013
本社管理経費	5,688	5,457	6,168
生産活動支出	705	670	922
その他の支出	0	0	0
本体事業収支 【(a)-(b)】 (c)	2,567	3,106	1,298
自主事業収入 (d)	自主事業なし		
自主事業支出 (e)	自主事業なし		
自主事業収支 【(d)-(e)】 (f)	0	0	0
全体収支 【(c)+(f)】	2,567	3,106	1,298
備考			

### 団体の財務状況

団体本体の経営状況について特段の問題はない。

## 7 管理業務の履行状況

検査方法	施設所管課職員による現地確認及びヒアリング
実施時期	令和3年12月21日

検査項目	確認結果	備考
管理業務	適正に実施	
危機管理	適正に実施	
人員配置・地元活用	適正に実施	
現金管理	適正に実施	
会計・経理	適正に実施	
情報セキュリティ	適正に実施	
情報公開・個人情報保護	適正に実施	
市への報告事項・事前承認等	適正に実施	
加点事由	具体的内容	

## 8 ウェブアクセシビリティ

ホームページの作成	有
-----------	---

ウェブアクセシビリティの取組項目	取組状況
機種依存文字を使っていない。	○
ページ内の文字の大きさを変えることができる。	○
単語の途中にスペースや改行を入れていない。	○
ページ内容を的確に表しているタイトルが付いている。	○
ダウンロードできるファイルには、ファイルの種類とサイズを記載している。	×
画像には、代替テキスト等を付与し、支援技術利用者にも適切な代替情報を提供している。	○
背景色と文字色にコントラストを確保するなど、色使いに配慮している。	○
その他取り組んでいること	

## 9 指定管理者の自己評価

新型コロナウイルス感染症の影響を受けているものの年間延べ利用者数は増加しており、就労相談については、就労継続支援B型事業所「ワークやまのべ」へのスムーズな移行を行っている。また、生産活動における1日の工賃を前年度から250円ほど上げ、利用者の就労意欲の向上を図っている。今後も、地域活動を含め、包括的支援を目指す所存であります。

## 10 所管課意見

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により一部事業の中止など厳しい状況の中、利用者満足度評価での感染症対策に係る満足度では96.4%が高評価であることやフリースペースの提供による居場所作りなど、利用者の不安を取り除く支援を工夫している点を評価する。
- ・満足度調査のほか、日常的に施設利用者と直接対話する機会を多く設けており、ニーズに合わせた施設運営や事業実施等を意識して行っている点を評価する。
- ・生産活動では、概ね就労継続支援B型事業所「ワークやまのべ」への移行が完了し、就労意欲の向上や社会参加へつなげた点を評価する。
- ・次年度も社会情勢に合わせた施設運営や安全確保に努めながら、引き続き利用者のニーズに応えられるように努めていただきたい。

## 11 選考委員会意見

### 【評価した点】

新型コロナウイルス感染症の影響で、通所する利用者が減少しているが、電話やメール等による相談のほか、感染拡大防止に配慮した相談を行う等工夫した支援を行っている。

生産活動参加者の就労継続支援B型への移行を促進することで、利用者の就労意欲を高め、社会参加の促進に寄与している。

### 【今後期待する点等】

- ・施設の立地から交通利便性等に課題はあるが、地域の障害者にとって重要な施設となっているため、通所が困難な利用者に対する支援等についても、引き続き電話やメールでの相談に取り組むこと。
- ・コロナ禍で地域交流事業等が中止となり、地域の方とのかかわる機会が減っているため、地域との交流、連携、地域の福祉力を活かし、利用者の社会参加及び障害への理解促進に取り組むこと。
- ・利用者のニーズに沿ったきめ細やかな支援と、利用者が安全・安心に利用できるような施設運営を行うこと。

総合評価（自動判定）

A

(70/100)

